

めざす子どもの姿 : 夢と志を持ち、未来を創るよっかいちの子ども

「第4次四日市市学校教育ビジョン」



めざす教師の姿

教育への情熱を持ち、豊かな人間性を備え、自己相互研鑽を積み、
確かな教師力を持った教職員を目指します。

- | | |
|--------------------------|------------------------------|
| 基本目標1 確かな学力の定着 | ② ICT活用による情報活用能力の育成 |
| 基本目標4 全ての子どもの能力を伸ばす教育の実現 | ② 特別支援教育の充実
④ 不登校児童生徒への支援 |
| 基本目標5 学校教育の向上 | ⑥ 教職員の資質・能力の向上 |

「第4次四日市市学校教育ビジョン」



教育支援課

四日市市教育委員会 教職員研修講座

基本研修
各担当者研修

専門研修
ライフステージ別研修
教科等研修
領域等研修
重点教育課題研修

特別研修
アカデミック・社会研修
夏季教育セミナー

【教師力向上へ向けた研修の推進】

- ・ライフステージ(若手・ミドルリーダー)や職務に応じた教員研修の充実
- ・ICTを効果的に活用する授業改善研修
- ・OJTを含む校内外研修と、校外研修を関連させた効果的な研修
- ・三重大学や企業・JAXA等との連携による校内外研修の充実

【出前研修の推進】

- ・教員・児童生徒のICTスキル向上支援
- ・初任者研修や若手教員への訪問支援

調査研究

研究事業の推進

- ・教育課題に対応した研究の推進(課題研究)
- ・研究成果の全市への普及

	主 題	研 究 内 容 の 概 要
1	音声認識ソフトを活用した問題解決能力を育成するための研究 ～数学科の実践を通して～	音声認識ソフトを使用すると、他者の考えを可視化できるため、問題解決に役立つと考えられる。 市内の中学校に研究協力を仰ぎ、数学の授業で音声認識ソフトを使う場合と使わない場合の2種類の授業を比較検証する。 ソフトを活用することで、他者の視点から見通しを立てたり、新しい考えを取り入れたりすることができ、問題解決能力の向上が期待される。
2	社会科副読本「のびゆく四日市」の活用を充実させる研究 ～地域教材を有効活用するための指導書づくり～	小学校3、4年生の四日市市の産業や文化等の学習場面における社会科副読本「のびゆく四日市」の活用について、その使用状況や成果、課題について整理する。それをもとに、地域教材の活用に関するポイントをまとめ、「のびゆく四日市」の指導の手引きを作成する。 その後、手引きを用いた授業実践により、指導方法や教師の意識にどのような変化があるのか、そして地域に愛着を持ち、持続可能な社会を創ろうとする子どもの育成につながるかどうかを検証する。
3	不登校の未然防止についての一考察 ～小学校における援助希求的態度の育成にむけて～	不登校の未然防止対策として、文部科学省より「SOSの出すことの大切さ」(援助希求的態度の促進)が挙げられている。 悩みを持つことは悪いことではなく、誰でも悩むことがあるということへの理解を促し、悩んだときに人に話す・聴いてもらうことの重要性を伝えるための取組を行うことで、児童の援助希求的態度の育成につながるのかどうか検証する。